

### 第三節 外皮の日射熱取得

#### 1. 適用範囲

この計算は、用途が住宅である建築物又は建築物の部分における、外皮の平均日射熱取得率及び単位日射強度当たりの暖房期及び冷房期の日射熱取得量の計算について適用する。

#### 2. 引用規格

JIS A1493:2014	窓及びドアの熱性能—日射熱取得率の測定
JIS A2103:2014	窓及びドアの熱性能—日射熱取得率の計算
JIS R3106:1998	板ガラス類の透過率・反射率・放射率・日射熱取得率の試験方法
JIS R3202:2011	フロート板ガラス及び磨き板ガラス
JIS R3203:2009	型板ガラス
JIS R3204:1994	網入板ガラス及び線入板ガラス
JIS R3206:2003	強化ガラス
JIS R3222:2003	倍強度ガラス
JIS R3205:2005	合わせガラス
JIS R3208:1998	熱線吸収板ガラス
JIS R3221:2002	熱線反射ガラス

#### 3. 用語の定義

第一章の定義を適用する。

#### 4. 記号及び単位

##### 4.1 記号

本計算で用いる記号及び単位は表 1 による。

表 1 記号及び単位

記号	意味	単位
$A$	外皮の部位の面積	$m^2$
$A_{env}$	外皮の部位の面積の合計	$m^2$
$f_c$	冷房期の取得日射熱補正係数	—
$f_H$	暖房期の取得日射熱補正係数	—
$L$	熱橋部分の長さ	m
$U$	熱貫流率	$W/m^2K$
$y_1$	日除け下端から窓上端までの垂直方向の距離	mm
$y_2$	窓の開口高さ寸法	mm
$Z$	壁面からの日除けの張り出し寸法	mm

記号	意味	単位
$\eta_{AC}$	冷房期の平均日射熱取得率	%
$\eta_{AH}$	暖房期の平均日射熱取得率	%
$\eta_C$	外皮の部位の冷房期の日射熱取得率	—
$\eta_H$	外皮の部位の暖房期の日射熱取得率	—
$\eta_d$	窓の垂直面日射熱取得率	—
$\eta_{d1}$	外気側の窓の垂直面日射熱取得率	—
$\eta_{d2}$	室内側の窓の垂直面日射熱取得率	—
$\eta_g$	ガラスの垂直面日射熱取得率	—
$\nu_C$	外皮の部位の冷房期の方位係数	—
$\nu_H$	外皮の部位の暖房期の方位係数	—
$\psi$	線熱貫流率	W/mK

#### 4.2 添え字

本計算で用いる添え字は表 2 による

表 2 添え字

添え字	意味
$i$	(一般) 部位、開口部
$j$	熱橋部分

#### 5. 暖房期の平均日射熱取得率( $\eta_{AH}$ 値) 及び冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_{AC}$ 値)

暖房期の平均日射熱取得率 $\eta_{AH}$ は、式(1a)により計算された値の 10 分の 1 未満の端数を切り下げ、小数第一位までの値とする。冷房期の平均日射熱取得率 $\eta_{AC}$ は、式(1b)により計算された値の 10 分の 1 未満の端数を切り上げ、小数第一位までの値とする。

$$\eta_{AH} = \sum_i (A_i \eta_{H,i} \nu_{H,i}) / A_{env} \times 100 \quad (1a)$$

$$\eta_{AC} = \sum_i (A_i \eta_{C,i} \nu_{C,i}) / A_{env} \times 100 \quad (1b)$$

ここで、

- $\eta_{AH}$  : 暖房期の平均日射熱取得率 (%)
- $\eta_{AC}$  : 冷房期の平均日射熱取得率 (%)
- $A_i$  : 外皮の部位 (一般部位又は開口部)  $i$  の面積 ( $m^2$ )
- $\eta_{H,i}$  : 外皮の部位 (一般部位又は開口部)  $i$  の暖房期の日射熱取得率
- $\eta_{C,i}$  : 外皮の部位 (一般部位又は開口部)  $i$  の冷房期の日射熱取得率
- $\nu_{H,i}$  : 外皮の部位 (一般部位又は開口部)  $i$  の暖房期の方位係数
- $\nu_{C,i}$  : 外皮の部位 (一般部位又は開口部)  $i$  の冷房期の方位係数
- $A_{env}$  : 外皮の部位の面積の合計 ( $m^2$ )

である。

外皮の部位の面積の合計 $A_{env}$ は、第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第二節「外皮の熱損失」で定める値とする。

## 6. 日射熱取得率

### 6.1 一般部位

一般部位 $i$ の暖房期の日射熱取得率 $\eta_{H,i}$ 及び冷房期の日射熱取得率 $\eta_{C,i}$ は、式(2a)及び式(2b)により表される。

$$\eta_{H,i} = \begin{cases} 0.034 \times U_i \\ 0.034 \times \frac{L_j \times \psi_j}{A_i} \end{cases} \quad (2a)$$

$$\eta_{C,i} = \begin{cases} 0.034 \times U_i \\ 0.034 \times \frac{L_j \times \psi_j}{A_i} \end{cases} \quad (2b)$$

ここで、

- $U_i$  : 一般部位 $i$ の熱貫流率(W/(m<sup>2</sup>K))
- $\psi_j$  : 一般部位 $i$ の熱橋部分 $j$ の線熱貫流率(W/mk)
- $L_j$  : 一般部位 $i$ の熱橋部分 $j$ の長さ(m)
- $A_i$  : 一般部位 $i$ の面積(m<sup>2</sup>)

である。方位の異なる一般部位に接する線熱貫流率は、方位の数で按分すること。ただし、当分の間、按分せずに異なる方位のうち冷房期の方位係数が最も大きい値となる方位の部位に含めることができる。

### 6.2 窓等の大部分がガラスで構成される開口部

#### 6.2.1 日射熱取得率の計算

開口部 $i$ の暖房期の日射熱取得率 $\eta_{H,i}$ 及び冷房期の日射熱取得率 $\eta_{C,i}$ は式(3)により表される。

$$\eta_{H,i} = f_{H,i} \times \eta_{d,i} \quad (3a)$$

$$\eta_{C,i} = f_{C,i} \times \eta_{d,i} \quad (3b)$$

ここで、

- $f_{H,i}$  : 開口部 $i$ の暖房期の取得日射量補正係数
- $f_{C,i}$  : 開口部 $i$ の冷房期の取得日射量補正係数
- $\eta_{d,i}$  : 開口部 $i$ の垂直面日射熱取得率

である。

#### 6.2.2 取得日射量補正係数

開口部 $i$ の暖房期の取得日射量補正係数 $f_{H,i}$ は0.51とし開口部 $i$ の冷房期の取得日射量補正係数 $f_{C,i}$ は0.93とするか、以下の 1)又は 2)により計算された値とすることができる。

## 1) 屋根又は当該屋根の直下の天井に設置されている開口部を除く開口部

## 1-1) 当該開口部の上部に日除けが設置されている場合

開口部*i*の暖房期の取得日射量補正係数 $f_{H,i}$ は、式(4)により求める値とするか、又は面する方位に応じ式(5)により求める値とすることができる。ただし、式(5)により求めた暖房期の取得日射量補正係数が、0.72を超える場合は当該取得日射量補正係数を0.72とする。

開口部*i*の冷房期の取得日射量補正係数 $f_{C,i}$ は、式(4)により求める値とするか、又は面する方位に応じ式(6)により求める値とすることができる。ただし、式(6)により求めた冷房期の取得日射量補正係数が、0.93を超える場合は当該取得日射量補正係数を0.93とする。

$$f = \frac{f_2 \times (y_1 + y_2) - f_1 \times y_1}{y_2} \quad (4)$$

暖房期における1地域から7地域までの南東面・南面・南西面

$$f_H = 0.01 \times \left( 5 + 20 \times \frac{3y_1 + y_2}{Z} \right) \quad (5a)$$

暖房期における1地域から7地域までの南東面・南面・南西面以外

$$f_H = 0.01 \times \left( 10 + 15 \times \frac{2y_1 + y_2}{Z} \right) \quad (5b)$$

冷房期における1地域から7地域までの南面

$$f_C = 0.01 \times \left( 24 + 9 \times \frac{3y_1 + y_2}{Z} \right) \quad (6a)$$

冷房期における1地域から7地域までの南面以外及び8地域の南東面・南面・南西面以外

$$f_C = 0.01 \times \left( 16 + 24 \times \frac{2y_1 + y_2}{Z} \right) \quad (6b)$$

冷房期における8地域の南東面・南面・南西面

$$f_C = 0.01 \times \left( 16 + 19 \times \frac{2y_1 + y_2}{Z} \right) \quad (6c)$$

ここで、

- $y_1$  : 日除け下端から窓上端までの垂直方向の距離(mm)
- $y_2$  : 窓の開口高さ寸法(mm)
- $Z$  : 壁面からの日除けの張り出し寸法(ひさし等のオーバーハング型日除けの出寸法は壁表面から先端までの寸法とする)(mm)
- $f_1, f_2$  : 式(7)により定義される $l_1$ 及び $l_2$ をパラメーターとして、地域の区分及びガラスの仕様の区分に応じ、データ「取得日射量補正係数」より算出した値である。 $l_1$ 又は $l_2$ の値が表に定められていない場合、直近の上下の値を直線補完し補正係数を求めることとする。なお、 $l_1$ 又は $l_2$ の値が20を超える場合は、20として定められた値を用いる。

である。

$$l_1 = \frac{y_1}{z} \quad (7a)$$

$$l_2 = \frac{y_1 + y_2}{z} \quad (7b)$$

### 1-2) 当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合

開口部*i*の暖房期の取得日射量補正係数 $f_{H,i}$ 及び冷房期の取得日射量補正係数 $f_{C,i}$ は、付録 B に定める値とする。

### 2) 天窓等の屋根又は当該屋根の直下の天井に設置されている開口部

天窓等の屋根又は当該屋根の直下の天井に設置されている開口部*i*の暖房期の取得日射量補正係数 $f_{H,i}$ は表 3、冷房期の取得日射量補正係数 $f_{C,i}$ は表 4 に定める値とする。

表 3 屋根又は当該屋根の直下の天井に設置されている開口部の暖房期の取得日射量補正係数

		地域の区分							
		1	2	3	4	5	6	7	8
ガラスの仕様の区分	区分 1	0.90	0.91	0.91	0.91	0.90	0.90	0.90	—
	区分 2	0.85	0.86	0.86	0.87	0.85	0.85	0.85	—
	区分 3	0.83	0.84	0.84	0.85	0.83	0.84	0.83	—
	区分 4	0.85	0.86	0.86	0.87	0.85	0.85	0.85	—
	区分 5	0.82	0.83	0.83	0.84	0.82	0.82	0.82	—
	区分 6	0.82	0.83	0.83	0.84	0.82	0.82	0.82	—
	区分 7	0.80	0.81	0.81	0.82	0.80	0.80	0.80	—
	上記以外	0.80	0.81	0.81	0.82	0.80	0.80	0.80	—

表 4 屋根又は当該屋根の直下の天井に設置されている開口部の冷房期の取得日射量補正係数

		地域の区分							
		1	2	3	4	5	6	7	8
ガラスの仕様の区分	区分 1	0.93	0.93	0.93	0.94	0.93	0.94	0.94	0.93
	区分 2	0.90	0.90	0.90	0.91	0.90	0.90	0.91	0.90
	区分 3	0.88	0.88	0.89	0.89	0.88	0.89	0.89	0.88
	区分 4	0.89	0.89	0.90	0.90	0.89	0.90	0.90	0.90
	区分 5	0.87	0.87	0.88	0.88	0.87	0.88	0.88	0.88
	区分 6	0.87	0.88	0.88	0.89	0.88	0.88	0.89	0.88
	区分 7	0.86	0.86	0.86	0.87	0.86	0.87	0.87	0.86
	上記以外	0.93	0.93	0.93	0.94	0.93	0.94	0.94	0.93

## 6.2.3 ガラスの仕様の区分

ガラスの仕様の区分はガラスの仕様に応じて表 5 に定める。

表 5 ガラスの仕様の区分

			ガラスの仕様の区分						
			1	2	3	4	5	6	7
三層 複層	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型						○	
		日射遮蔽型			○				
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型						○	
		日射遮蔽型						○	
(二層) 複層	Low-E複層ガラス	日射取得型			○				
		日射遮蔽型				○			
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス1種	○						
		熱線反射ガラス2種	○						
		熱線反射ガラス3種	○						
		熱線吸収板ガラス2種			○				
	複層ガラス		○						
単板ガラス2枚を組み合わせたもの		○							
単層	単板ガラス	熱線反射ガラス1種	○						
		熱線反射ガラス2種	○						
		熱線反射ガラス3種	○						
		熱線吸収板ガラス2種	○						
		熱線反射ガラス又は熱線吸収ガラス以外	○						
二重窓	単板ガラス2枚を組み合わせたもの <sup>(注)</sup>		○						
	単板ガラスと複層ガラスを組み合わせたもの					○			
	単板ガラスとLow-E複層ガラスを組み合わせたもの	日射取得型						○	
		日射遮蔽型					○		

注) 「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする。

## 6.2.4 開口部の垂直面日射熱取得率

開口部の垂直面日射熱取得率 $\eta_{d,i}$ は、JIS R3106 に定める日射熱取得率の値、JIS A2103 に定める日射熱取得率の値、JIS A1493 に定める日射熱取得率の値、又は当該窓のガラスの仕様等に応じ付録 A の表 A.1 に定める日射熱取得率の値とする。ただし、JIS R3106 に定める日射熱取得率の値を用いる場合は、式(8)により、枠の影響を考慮しなければならない。

枠が木製建具又は樹脂製建具の場合、

$$\eta_{d,i} = \eta_{g,i} \times 0.72 \quad (8a)$$

枠が木と金属の複合材料製建具、樹脂と金属の複合材料製建具、金属製熱遮断構造建具又は金属製建具の場合、

$$\eta_{d,i} = \eta_{g,i} \times 0.8 \quad (8b)$$

ここで、

$\eta_{g,i}$  : 開口部*i*のガラスの垂直面日射熱取得率(JIS R3106 に定める値)

である。

二重窓等の複数の開口部が組み合わさった開口部の垂直面日射熱取得率 $\eta_{d,i}$ は、式(9)により求められる。

$$\eta_{d,i} = \eta_{d1,i} \times \eta_{d2,i} \times 1.06 \div r_f \quad (9)$$

ここで、

- $\eta_{d1,i}$  : 開口部 $i$ の外気側の窓の垂直面日射熱取得率
- $\eta_{d2,i}$  : 開口部 $i$ の室内側の窓の垂直面日射熱取得率
- $r_f$  : 開口部 $i$ の全体の面積に対するガラス部分の面積の比

である。付属部材がある場合については、付属部材の影響による垂直面日射熱取得率の低減の効果は、和障子の場合は室内側の窓の垂直面日射熱取得率に含めることとし、外付けブラインドの場合は外気側の窓の垂直面日射熱取得率に含めることとする。開口部 $i$ の全体の面積に対するガラス部分の面積の比 $r_f$ は、室内側の窓及び室内側の窓の両方の枠が木製建具又は樹脂製建具の場合は0.72とし、それ以外の場合は0.8とする。

### 6.3 ドア等の大部分がガラスで構成されない開口部

開口部 $i$ の暖房期の日射熱取得率 $\eta_{H,i}$ 及び冷房期の日射熱取得率 $\eta_{C,i}$ は、対象となる開口部の熱貫流率 $U_i$ に0.034を乗ずることにより求める。

## 7. 方位係数

部位 $i$ の暖房期の方位係数 $v_{H,i}$ は表6に定める値とする。部位 $i$ の冷房期の方位係数 $v_{C,i}$ は、表7に定める値とする。部位 $i$ の方位は、当該部位の屋外に向かう法線の水平投影線の方位を、それぞれ北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の各方位(真北方向を基準とした直交方位軸を設定し、その直交方位軸と $\pm 22.5$ 度で交わる線により区分される範囲)と、上面、下面に振り分けた値とする。

屋根の面する方位については、勾配の有無に関わらず上面に面するものとして取扱うこととする。

界壁及び界床の方位係数は0とする。

表6 暖房期の方位係数

方位	地域の区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
上面	1.0							
北	0.260	0.263	0.284	0.256	0.238	0.261	0.227	—
北東	0.333	0.341	0.348	0.330	0.310	0.325	0.281	
東	0.564	0.554	0.540	0.531	0.568	0.579	0.543	
南東	0.823	0.766	0.751	0.724	0.846	0.833	0.843	
南	0.935	0.856	0.851	0.815	0.983	0.936	1.023	
南西	0.790	0.753	0.750	0.723	0.815	0.763	0.848	
西	0.535	0.544	0.542	0.527	0.538	0.523	0.548	
北西	0.325	0.341	0.351	0.326	0.297	0.317	0.284	
下面	0.0							

表 7 冷房期の方位係数

方位	地域の区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
上面	1.0							
北	0.329	0.341	0.335	0.322	0.373	0.341	0.307	0.325
北東	0.430	0.412	0.390	0.426	0.437	0.431	0.415	0.414
東	0.545	0.503	0.468	0.518	0.500	0.512	0.509	0.515
南東	0.560	0.527	0.487	0.508	0.500	0.498	0.490	0.528
南	0.502	0.507	0.476	0.437	0.472	0.434	0.412	0.480
南西	0.526	0.548	0.550	0.481	0.520	0.491	0.479	0.517
西	0.508	0.529	0.553	0.481	0.518	0.504	0.495	0.505
北西	0.411	0.428	0.447	0.401	0.442	0.427	0.406	0.411
下面	0.0							

## 8. 外皮の面積

外皮の面積の算出方法は、第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第二節「外皮の熱損失」で定める方法と同一とする。

## 付録 A 住宅の平均日射熱取得率算出に用いる材料種別の熱物性値等

## A.1 窓等の大部分がガラスで構成される開口部の日射熱取得率

表 A.1 に窓等の大部分がガラスで構成される開口部（一重構造の建具）の日射熱取得率を示す。

表 A.1(a) 窓等の大部分がガラスで構成される開口部（一重構造の建具）の日射熱取得率  
（木製建具又は樹脂製建具）

ガラスの仕様		日射熱取得率 $\eta$			
		付属部材なし	和障子	外付けブラインド	
三層 複層	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型	0.39	0.24	0.09
		日射遮蔽型	0.24	0.16	0.06
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.42	0.27	0.10
		日射遮蔽型	0.27	0.18	0.07
(二層) 複層	Low-E複層ガラス	日射取得型	0.46	0.27	0.11
		日射遮蔽型	0.29	0.19	0.08
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス1種	0.44	0.24	0.10
		熱線反射ガラス2種	0.27	0.17	0.07
		熱線反射ガラス3種	0.12	0.09	0.04
		熱線吸収板ガラス2種	0.37	0.20	0.09
	複層ガラス	0.57	0.27	0.12	
単板ガラス2枚を組み合わせたもの <sup>注)</sup>	0.57	0.27	0.12		
単層	単板ガラス	熱線反射ガラス1種	0.49	0.25	0.12
		熱線反射ガラス2種	0.35	0.22	0.09
		熱線反射ガラス3種	0.17	0.14	0.06
		熱線吸収板ガラス2種	0.45	0.24	0.11
		熱線反射ガラス又は熱線吸収ガラス以外	0.63	0.27	0.14

注) 「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする。

表 A.1(b) 窓等の大部分がガラスで構成される開口部(一重構造の建具)の日射熱取得率  
(木と金属の複合材料製建具又は樹脂と金属の複合材料製建具、金属製熱遮断構造建具又は金属製建具)

ガラスの仕様			日射熱取得率 $\eta$		
			付属部材なし	和障子	外付けブラインド
三層複層	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型	0.43	0.27	0.10
		日射遮蔽型	0.26	0.18	0.06
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.47	0.30	0.11
		日射遮蔽型	0.30	0.20	0.08
(二層)複層	Low-E複層ガラス	日射取得型	0.51	0.30	0.12
		日射遮蔽型	0.32	0.21	0.09
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス1種	0.49	0.26	0.11
		熱線反射ガラス2種	0.30	0.19	0.08
		熱線反射ガラス3種	0.13	0.10	0.05
		熱線吸収板ガラス2種	0.42	0.22	0.10
	複層ガラス	0.63	0.30	0.14	
単板ガラス2枚を組み合わせたもの <sup>注)</sup>	0.63	0.30	0.14		
単層	単板ガラス	熱線反射ガラス1種	0.54	0.28	0.13
		熱線反射ガラス2種	0.39	0.24	0.10
		熱線反射ガラス3種	0.18	0.16	0.06
		熱線吸収板ガラス2種	0.50	0.27	0.12
		熱線反射ガラス又は熱線吸収ガラス以外	0.70	0.30	0.15

注)「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする。

表 A.1(c) 窓等の大部分がガラスで構成される開口部(一重構造の建具)の日射熱取得率  
(枠の影響なし・ガラス部分のみ)

ガラスの仕様			日射熱取得率 $\eta$		
			付属部材なし	和障子	外付けブラインド
三層複層	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型	0.54	0.34	0.12
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.59	0.37	0.14
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10
(二層)複層	Low-E複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス1種	0.61	0.33	0.14
		熱線反射ガラス2種	0.38	0.24	0.10
		熱線反射ガラス3種	0.16	0.12	0.06
		熱線吸収板ガラス2種	0.52	0.28	0.12
	複層ガラス	0.79	0.38	0.17	
単板ガラス2枚を組み合わせたもの <sup>注)</sup>	0.79	0.38	0.17		
単層	単板ガラス	熱線反射ガラス1種	0.68	0.35	0.16
		熱線反射ガラス2種	0.49	0.30	0.13
		熱線反射ガラス3種	0.23	0.20	0.08
		熱線吸収板ガラス2種	0.63	0.34	0.15
		熱線反射ガラス又は熱線吸収ガラス以外	0.88	0.38	0.19

注)「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする。

## 付録 B 当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合の取得日射量補正係数

当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合の開口部*i*の暖房期の取得日射量補正係数 $f_{H,i}$ 及び冷房期の取得日射量補正係数 $f_{C,i}$ は、表 B.1 に定める値とする。

表 B.1 当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合の開口部の取得日射量補正係数

地域の 区分	ガラス仕様 の区分	期間	開口部の面する方位							
			北	北東	東	南東	南	南西	西	北西
1	区分 1	冷房	0.853	0.865	0.882	0.864	0.807	0.860	0.880	0.866
		暖房	0.862	0.848	0.871	0.892	0.892	0.888	0.869	0.850
	区分 2	冷房	0.807	0.821	0.847	0.820	0.746	0.814	0.844	0.822
		暖房	0.818	0.799	0.831	0.858	0.856	0.853	0.828	0.802
	区分 3	冷房	0.791	0.805	0.833	0.802	0.727	0.797	0.830	0.806
		暖房	0.803	0.783	0.816	0.844	0.842	0.839	0.813	0.787
	区分 4	冷房	0.805	0.818	0.844	0.816	0.745	0.811	0.841	0.819
		暖房	0.816	0.797	0.828	0.854	0.853	0.850	0.825	0.800
	区分 5	冷房	0.776	0.791	0.823	0.789	0.707	0.783	0.820	0.792
		暖房	0.789	0.767	0.804	0.834	0.831	0.829	0.800	0.771
	区分 6	冷房	0.781	0.796	0.826	0.793	0.715	0.787	0.823	0.797
		暖房	0.793	0.772	0.806	0.836	0.833	0.831	0.803	0.775
	区分 7	冷房	0.761	0.776	0.810	0.772	0.688	0.766	0.806	0.777
		暖房	0.773	0.751	0.788	0.820	0.816	0.814	0.785	0.755
2	区分 1	冷房	0.857	0.864	0.877	0.858	0.812	0.861	0.878	0.864
		暖房	0.860	0.851	0.873	0.888	0.880	0.885	0.874	0.850
	区分 2	冷房	0.812	0.820	0.839	0.814	0.753	0.817	0.841	0.819
		暖房	0.815	0.802	0.833	0.853	0.840	0.848	0.835	0.802
	区分 3	冷房	0.796	0.804	0.825	0.796	0.734	0.799	0.827	0.803
		暖房	0.801	0.787	0.819	0.840	0.825	0.834	0.821	0.786
	区分 4	冷房	0.810	0.817	0.836	0.810	0.751	0.813	0.838	0.817
		暖房	0.814	0.801	0.831	0.850	0.837	0.845	0.832	0.800
	区分 5	冷房	0.782	0.790	0.814	0.783	0.714	0.786	0.816	0.790
		暖房	0.786	0.771	0.807	0.829	0.813	0.824	0.809	0.770
	区分 6	冷房	0.787	0.794	0.817	0.787	0.721	0.790	0.820	0.794
		暖房	0.790	0.775	0.810	0.831	0.815	0.826	0.811	0.775
	区分 7	冷房	0.767	0.774	0.800	0.766	0.695	0.768	0.803	0.774
		暖房	0.771	0.754	0.792	0.815	0.797	0.809	0.794	0.754

表 B.1 当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合の開口部の取得日射量補正係数(続き)

地域の 区分	ガラス仕様 の区分	期間	開口部の面する方位							
			北	北東	東	南東	南	南西	西	北西
3	区分 1	冷房	0.853	0.862	0.870	0.853	0.799	0.859	0.883	0.865
		暖房	0.862	0.850	0.869	0.885	0.884	0.885	0.871	0.850
	区分 2	冷房	0.807	0.817	0.830	0.806	0.738	0.813	0.849	0.821
		暖房	0.818	0.803	0.828	0.850	0.846	0.849	0.831	0.802
	区分 3	冷房	0.791	0.802	0.816	0.788	0.720	0.795	0.835	0.805
		暖房	0.804	0.787	0.814	0.836	0.831	0.836	0.816	0.787
	区分 4	冷房	0.805	0.815	0.828	0.803	0.737	0.810	0.846	0.819
		暖房	0.816	0.801	0.826	0.847	0.842	0.846	0.828	0.801
	区分 5	冷房	0.777	0.788	0.804	0.774	0.699	0.781	0.825	0.792
		暖房	0.790	0.772	0.801	0.825	0.819	0.825	0.804	0.771
	区分 6	冷房	0.782	0.792	0.808	0.778	0.707	0.786	0.828	0.796
		暖房	0.793	0.776	0.804	0.827	0.821	0.827	0.807	0.776
	区分 7	冷房	0.761	0.772	0.790	0.757	0.681	0.764	0.812	0.776
		暖房	0.774	0.756	0.786	0.811	0.803	0.810	0.789	0.755
4	区分 1	冷房	0.852	0.861	0.881	0.853	0.784	0.850	0.876	0.861
		暖房	0.861	0.846	0.874	0.883	0.874	0.882	0.872	0.845
	区分 2	冷房	0.806	0.816	0.845	0.805	0.721	0.802	0.839	0.816
		暖房	0.816	0.797	0.834	0.846	0.832	0.846	0.833	0.796
	区分 3	冷房	0.790	0.800	0.831	0.787	0.704	0.785	0.824	0.800
		暖房	0.802	0.782	0.819	0.833	0.817	0.832	0.818	0.780
	区分 4	冷房	0.804	0.813	0.842	0.802	0.721	0.799	0.836	0.813
		暖房	0.814	0.796	0.831	0.843	0.829	0.843	0.830	0.794
	区分 5	冷房	0.776	0.786	0.820	0.772	0.683	0.770	0.813	0.786
		暖房	0.787	0.766	0.807	0.822	0.804	0.821	0.806	0.764
	区分 6	冷房	0.781	0.791	0.823	0.777	0.691	0.775	0.817	0.790
		暖房	0.791	0.770	0.810	0.824	0.807	0.824	0.809	0.769
	区分 7	冷房	0.761	0.770	0.806	0.754	0.665	0.752	0.799	0.770
		暖房	0.772	0.749	0.792	0.807	0.787	0.807	0.791	0.747
5	区分 1	冷房	0.860	0.863	0.874	0.854	0.807	0.858	0.875	0.862
		暖房	0.867	0.838	0.874	0.894	0.894	0.891	0.871	0.840
	区分 2	冷房	0.816	0.820	0.835	0.807	0.749	0.813	0.837	0.817
		暖房	0.823	0.787	0.834	0.861	0.858	0.857	0.830	0.789
	区分 3	冷房	0.800	0.804	0.820	0.790	0.732	0.795	0.822	0.801
		暖房	0.809	0.771	0.819	0.848	0.842	0.845	0.815	0.773
	区分 4	冷房	0.813	0.817	0.832	0.804	0.749	0.809	0.834	0.815
		暖房	0.821	0.786	0.831	0.858	0.854	0.854	0.827	0.788
	区分 5	冷房	0.786	0.791	0.809	0.775	0.713	0.782	0.811	0.788
		暖房	0.795	0.754	0.807	0.839	0.832	0.835	0.803	0.756
	区分 6	冷房	0.791	0.795	0.812	0.780	0.720	0.786	0.815	0.792
		暖房	0.798	0.759	0.810	0.841	0.833	0.837	0.806	0.761
	区分 7	冷房	0.771	0.775	0.794	0.758	0.696	0.765	0.797	0.772
		暖房	0.779	0.737	0.791	0.826	0.816	0.821	0.787	0.740

表 B.1 当該開口部の上部に日除けが設置されていない場合の開口部の取得日射量補正係数(続き)

地域の 区分	ガラス仕様 の区分	期間	開口部の面する方位							
			北	北東	東	南東	南	南西	西	北西
6	区分 1	冷房	0.847	0.862	0.880	0.852	0.795	0.852	0.880	0.864
		暖房	0.870	0.839	0.874	0.896	0.889	0.885	0.874	0.844
	区分 2	冷房	0.800	0.818	0.843	0.804	0.738	0.804	0.843	0.820
		暖房	0.827	0.788	0.834	0.865	0.851	0.850	0.833	0.794
	区分 3	冷房	0.784	0.802	0.829	0.786	0.721	0.786	0.829	0.805
		暖房	0.813	0.772	0.819	0.852	0.836	0.837	0.818	0.778
	区分 4	冷房	0.798	0.816	0.840	0.801	0.737	0.801	0.840	0.818
		暖房	0.825	0.787	0.831	0.862	0.848	0.847	0.830	0.793
	区分 5	冷房	0.769	0.789	0.818	0.771	0.702	0.771	0.818	0.791
		暖房	0.799	0.755	0.806	0.843	0.824	0.827	0.806	0.762
	区分 6	冷房	0.774	0.793	0.821	0.776	0.709	0.776	0.821	0.796
		暖房	0.803	0.760	0.809	0.845	0.826	0.829	0.809	0.767
	区分 7	冷房	0.754	0.773	0.804	0.754	0.685	0.754	0.804	0.776
		暖房	0.784	0.739	0.791	0.830	0.808	0.813	0.790	0.745
7	区分 1	冷房	0.838	0.861	0.881	0.849	0.788	0.847	0.880	0.862
		暖房	0.873	0.833	0.868	0.892	0.896	0.894	0.870	0.834
	区分 2	冷房	0.788	0.817	0.845	0.800	0.730	0.798	0.843	0.818
		暖房	0.831	0.780	0.827	0.859	0.860	0.861	0.829	0.780
	区分 3	冷房	0.772	0.801	0.831	0.782	0.713	0.780	0.829	0.802
		暖房	0.817	0.764	0.812	0.847	0.844	0.849	0.814	0.764
	区分 4	冷房	0.787	0.814	0.842	0.797	0.729	0.795	0.840	0.815
		暖房	0.829	0.779	0.824	0.856	0.856	0.858	0.826	0.779
	区分 5	冷房	0.757	0.787	0.821	0.767	0.694	0.764	0.818	0.788
		暖房	0.803	0.746	0.799	0.837	0.833	0.839	0.801	0.746
	区分 6	冷房	0.762	0.792	0.824	0.772	0.701	0.770	0.822	0.793
		暖房	0.807	0.752	0.802	0.839	0.835	0.841	0.804	0.752
	区分 7	冷房	0.741	0.772	0.808	0.749	0.677	0.747	0.805	0.772
		暖房	0.788	0.729	0.783	0.824	0.816	0.826	0.785	0.729
8	区分 1	冷房	0.848	0.857	0.877	0.860	0.824	0.858	0.876	0.859
	区分 2	冷房	0.801	0.811	0.840	0.816	0.773	0.813	0.839	0.814
	区分 3	冷房	0.786	0.795	0.825	0.799	0.755	0.796	0.825	0.798
	区分 4	冷房	0.799	0.809	0.837	0.813	0.771	0.810	0.836	0.812
	区分 5	冷房	0.771	0.780	0.815	0.786	0.739	0.782	0.814	0.784
	区分 6	冷房	0.776	0.785	0.818	0.790	0.745	0.786	0.817	0.789
	区分 7	冷房	0.756	0.764	0.801	0.770	0.722	0.766	0.800	0.768